



デジタル障害者手帳の周知を！

障害者手帳は、医療費負担軽減や、公共交通機関の運賃割引などの支援が受けられる反面利用のたび個人情報を見られることから、利用者の心理的負担が以前からあります。デジタル障害者手帳とは、スマホの無料アプリで手帳の情報を登録することで、障害者手帳と同等に使えるものです。今年3月には、JRを含む鉄道事業者120社が導入を開始しており、全国で1000社を超える事業者が本人確認書類として認めています。市内の事業者、公共施設などでも導入していくべき、対応を伺う。

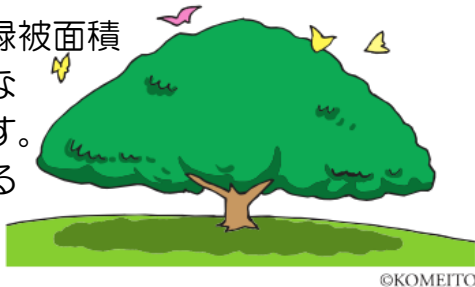


答 民間企業のサービスであることから、その有効性等を検討する必要があり、国において障害者手帳のカード化が示されているなど手帳そのものの形状が変化している中でもあることから、今後、他の自治体の事例について調査研究してみたい。



緑のリサイクルの推進を！

市内全域における緑被面積の割合が、緩やかな減少を続けています。朝霞市の景観を守ることは、緑をこれ以上減少させない



ことが重要ではないでしょうか。樹木の有効利用を図るため、自宅の増改築などで不用となった樹木を一時的に市の管理する広場に引き取り保管し、樹木が欲しいという市民に譲るといった緑のリサイクルを提案します。

答 市民や事業者の緑の保全や緑化の推進にもつながるものとなるので、みどりのまちづくりを支援する仕組みとして調査研究する。

その他の質問

災害対策基本法一部改正に伴って

- ・福祉避難所受け入れについて
- ・民間企業との災害時応援協定締結について

歩道の安全の確保を！

城山通りの歩道について再三質問指摘する歩道は、「普通自転車歩道通行可」であり、自転車の通行を制限できるものではないので、以前から何度も訴えていますが、一向に安全対策の改善がされる様子がありません。今後の具体的な対策を伺います。



答 現状の中で実施可能な安全対策として、スピード抑制などの注意喚起を促す看板の設置について検討する。

デジタル化対策

- ・高齢者のスマホ教室実施推進を

